

OTC 薬、プライマリケアを対象とする

薬剤師の臨床判断ワークショップ 2012

対象症候『腹痛』

OTC薬（一般用薬）は、地域の医療システムの中では重要な地位を占めます。初めて患者が医療システムに接触する場所がドラッグストア、薬局であり、OTC薬が対象となります。OTC薬を取り扱う者としては、この場に医療の入り口をあげる者としての意識と責任と能力が必要です。

OTC薬での治療が妥当とされる患者と、代替の方法を推奨する患者を適切に判断し、OTC薬での治療が妥当とされる場合にも、適切なOTCの製品が選択されるべきであり、そのための、患者判断の指針が確立することが必要と考えています。日本アプライド・セラピューティクス学会では、良くある症候を対象とする『薬剤師の臨床判断ワークショップ』を積み上げながら、患者判断の指針の確立を目指すことを行っています。昨年開催しました「薬剤師の臨床判断ワークショップ」では「頭痛」を対象に取り組み、参加された方々には大きなインパクトを持って頂く会となりました。

今回取り上げます「腹痛」は薬局に健康相談で来局される方の代表的な症候です。皆さんは「腹痛」を訴える患者に、薬局窓口でどのように対応されているでしょうか。患者の病態を反映する情報や所見を自ら収集して疾患を推測し、さらに薬剤師が適切な対処法を選択して（トリアージ）提案できるよう、演習と実習を通じて実践能力を向上させ、セルフメディケーションを支援するプライマリケアの担い手としての実力を向上させましょう。

日時：2012年12月2日（日）9:00～18:00（受付開始：8:30）

会場：昭和大学1号館5階会議室(品川旗の台キャンパス)

企画：木内祐二 先生（昭和大学薬学部）、狭間研至 先生（ファルメディコ(株)）

概要

1) 「腹痛」に対する臨床判断

腹痛患者からの情報収集と疾患の鑑別

腹痛患者に対するトリアージのプラン作成

— グループ討議とロールプレイを中心に —

2) フィジカルアセスメント

基本的なバイタルサインの測定方法

— 聴診、血圧測定などの実習 —

募集人数：40名（1グループ10名）

参加費：会員 5000円 非会員：8000円

参加申込：メールの件名を「臨床判断ワークショップ20102参加希望」として、氏名、所属、会員/非会員、連絡用アドレスをご記入のうえ、学会事務局宛お送りください

メールアドレス ats@mynavi.jp

詳細は、申込者に追ってお送りいたします。

参加締め切り：11月10日（先着順）

薬剤師研修センターの集合研修会となっております。（予定）

日本アプライド・セラピューティクス学会 OTC薬検討委員会

日本アプライド・セラピューティクス学会ホームページ：<http://www.applied-therapeutics.org/>